



## 2018年度 講座のご案内

〒161-0033 東京都新宿区下落合 3-14-16  
☎ 03-3951-1102 FAX03-3951-3044  
Email: kyomu@jbts.ac.jp

受講資格： すべての教会信徒に開かれています（夜間の科目は、正規の神学校のカリキュラムの一部を開放するものです）。

申込メ切： 前期：2018年3月30日（金） 後期：2017年8月31日（金）

申込方法： 受講申込書に必要事項を書き込み、封筒にて下記宛先まで郵送またはFAXにて送付してください。

受講料： 1科目 15,000円（但し通年科目は、1科目でも2科目として扱います。）

※同時に3科目以上申し込まれる方は、1科目につき1,000円ずつ割引（例えば3科目受講の方は45,000円のところを42,000円）。

※「パウロ神学の諸相」（全5回）は、5,000円（3科目以上申込の割引対象外）

※お申し込みいただいた後、支払い方法をご連絡します

申込および問い合わせ： 〒161-0033 東京都新宿区下落合 3-14-16 日本聖書神学校 神学基礎講座係

☎ 03-3951-1102 FAX03-3951-3044 Email: kyomu@jbts.ac.jp

### 受講予定の方へのお願い

- 図書館の利用について・・・講義の空き時間や待ち時間に本校図書館を利用される方が多くいらっしゃいます。本校図書館は、すべての教会信徒の方に開放されておりますが、最初に利用登録が必要となりますので、初めてご利用される方はカウンターで予め利用登録（年間2,000円）をお願いいたします。
- 講義の休講について・・・講師の都合等によってやむを得ず休講になる場合がございますので、予めご了承くださいませようお願い致します。また、補講につきましては、日程・詳細が決まり次第、お知らせします。
- 受講者の皆さんのレターボックス・・・様々な連絡のために用います。校舎1Fの奥に用意しました。

### アクセス



JR 目白駅より徒歩約10分

# 2018 年度神学基礎講座開講科目・受講日程表

## 【前期】

曜日	講 座	時 間	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回
月	●パウロ神学の諸相	15:00～16:30	4月16日	5月21日	6月18日	7月9日	9月24日	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	●新約概論	18:50～20:20	4月9日	4月16日	4月23日	5月7日	5月14日	5月21日	6月4日	6月11日	6月18日	6月25日	7月2日	7月9日	7月23日	/
	●日本キリスト教史Ⅰ	18:50～20:20	4月9日	4月16日	4月23日	5月7日	5月14日	5月21日	6月4日	6月11日	6月18日	6月25日	7月2日	7月9日	7月23日	/
	●キリスト教教育概論	20:30～22:00	4月9日	4月16日	4月23日	5月7日	5月14日	5月21日	6月4日	6月11日	6月18日	6月25日	7月2日	7月9日	7月23日	/
火	●ヘブル語(通年)	19:55～21:25	4月3日	4月17日	4月24日	5月1日	5月8日	5月15日*	5月22日	5月29日	6月5日	6月19日	6月26日	7月3日	7月10日	7月17日
	●ギリシア語(通年)	19:55～21:25	4月3日	4月17日	4月24日	5月1日	5月8日	5月15日*	5月22日	5月29日	6月5日	6月19日	6月26日	7月3日	7月10日	7月17日
水	●キリスト教史Ⅱ	18:15～19:45	4月4日	4月11日	4月18日	4月25日	5月2日	5月16日*	5月23日	5月30日	6月6日	6月13日	6月20日	6月27日	7月4日	7月11日
	●ラテン語(通年)	19:55～21:25	4月4日	4月11日	4月18日	4月25日	5月2日	5月16日*	5月23日	5月30日	6月6日	6月13日	6月20日	6月27日	7月4日	7月11日
木	●神学概論	18:15～19:45	4月5日	4月12日	4月19日	4月26日	5月10日	5月17日*	5月24日	5月31日	6月7日	6月14日	6月21日	6月28日	7月5日	7月12日
金	●礼拝学	18:50～20:20	4月6日	4月13日	4月20日	4月27日	5月11日	5月18日	5月25日	6月1日	6月8日	6月15日	6月22日	6月29日	7月6日	7月13日

\*…短縮授業となりますのでお気をつけ下さい。1 限目 18:15～19:30、2 限目 19:35～20:50

(注) 休講等により授業回数・授業日時が変更になる場合がありますのでご了承ください。

## 【後期】

曜日	講 座	時 間	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回
月	●キリスト教史Ⅰ	18:50～20:20	9月10日	10月1日	10月15日	10月22日	10月29日	11月5日	11月12日	11月19日	11月26日	12月3日	12月10日	1月7日	1月21日	/
	●日本キリスト教史Ⅱ	18:50～20:20	9月10日	10月1日	10月15日	10月22日	10月29日	11月5日	11月12日	11月19日	11月26日	12月3日	12月10日	1月7日	1月21日	/
	●教会音楽	18:50～20:20	9月10日	10月1日	10月15日	10月22日	10月29日	11月5日	11月12日	11月19日	11月26日	12月3日	12月10日	1月7日	1月21日	/
	●旧約概論	20:30～22:00	9月10日	10月1日	10月15日	10月22日	10月29日	11月5日	11月12日	11月19日	11月26日	12月3日	12月10日	1月7日	1月21日	/
火	●ヘブル語(通年)	19:55～21:25	9月18日	9月25日	10月9日	10月16日	10月23日	10月30日	11月6日	11月13日	11月20日	11月27日	12月4日	12月11日	12月18日	1月15日
	●ギリシア語(通年)	19:55～21:25	9月18日	9月25日	10月9日	10月16日	10月23日	10月30日	11月6日	11月13日	11月20日	11月27日	12月4日	12月11日	12月18日	1月15日
水	●旧約時代史	18:15～19:45	9月12日	9月26日	10月3日	10月10日	10月17日	10月24日	10月31日	11月7日	11月14日	11月21日	11月28日	12月5日	12月12日	1月9日
	●新約時代史	19:55～21:25	9月12日	9月26日	10月3日	10月10日	10月17日	10月24日	10月31日	11月7日	11月14日	11月21日	11月28日	12月5日	12月12日	1月9日
	●ラテン語(通年)	19:55～21:25	9月12日	9月26日	10月3日	10月10日	10月17日	10月24日	10月31日	11月7日	11月14日	11月21日	11月28日	12月5日	12月12日	1月9日
木	●キリスト教と文学	18:15～19:45	9月13日	9月20日	9月27日	10月4日	10月11日	10月18日	10月25日	11月1日	11月8日	11月15日	11月22日	11月29日	12月13日	1月10日

(注) 休講等により授業回数・授業日時が変更になる場合がありますのでご了承ください。

## パウロ神学の諸相

月曜日 午後3時～4時30分

講義日程：4/16,5/21,6/18,7/9,9/24の全5回



担当：  
パウ ホンウク  
 朴 憲郁 講師

諸民族の使徒となったパウロと彼の名による書簡は、新約聖書27巻の内、13巻を占める。真正のパウロ書簡を中心に、初期およびその後のイエス・キリスト教会の基礎を築いた彼の神学的諸テーマを、ヘレニズム・ユダヤ教的背景と共に学ぶ。講義形式で進めるが、場合によっては受講者にも発表していただく。

## 講義計画

1	パウロ神学緒論（講義）
2	サクラメントと霊
3	キリストの共同体
4	恵みによる生と服従—倫理（1）
5	恵みによる生と服従—倫理（2）

## 教科書・参考書

## 【聖書】

- （ギリシャ語新約聖書）Ed. Kurt Aland 『Novum Testamentum Graece, 27. Auflage』, Deutsche Bibelgesellschaft, Stuttgart, 1993, または、THE GREEK NEW TESTAMENT, Fourth Revised Edition, Deutsche Bibelgesellschaft/United Bible Societies. (Nestle-Aland ギリシャ語聖書の読みの参考書：ネスト レ=アーラント、ギリシャ語新約聖書（第27版）・序文、橋本滋男・津村春英 共訳、1995年、および、『聖書—旧約聖書続編つき—、新共同訳（NI44DC）』, 日本聖書協会（随時出版）
- 『聖書—旧約続編つき—、旧約聖書続編つき—新共同訳』, 日本聖書協会（随時出版）、Cat.No.NI44DC

## 【テキスト】

- 朴 憲郁、『パウロの生涯と神学』、教文館、2003年3月  
 （目下品切れのため、購入が困難であれば、講師がプリントで用意する）

## 【参考書】

- ・G. ボルンカム、『パウロ』、新教出版社
- ・小河 陽、『パウロとペテロ』、講談社選書メチエ 332、2005年
- ・P. Stuhlmacher, Biblische Theologie des Neuen Testaments, Band 1, Vandenhoeck & Ruprecht, 1992
- ・朴 憲郁、「パウロ研究」、木幡・青野 監修、『現代聖書講座』、第2巻、聖書学の方法と諸問題、日本基督教団出版局、(1996年初版)1999年再版、323～347頁

## 新約概論

月曜日 午後6時50分～8時20分

講義日程：4/9,4/16,4/23,5/7,5/14,5/21,6/4,6/11,6/18,6/25,7/2,7/9,7/23の全13回

担当：  
 水谷 勤 講師

新約聖書を構成する文書の神学的特徴を学び、執筆背景と原始キリスト教の様相について歴史的想像力をもって考察することを学びます。

## 講義計画

1	概説— 原始キリスト教の周辺世界と歴史
2～4	共観福音書、使徒言行録
5～7	パウロ書簡
8～10	パウロの名による書簡、「共同書簡」、ヘブライ人への手紙
11～13	ヨハネ文書
14	総括— 原始キリスト教の神学と文書成立過程の歴史

## 教科書・参考書

## 【参考書】

- 笠原義久『新約聖書入門』新教出版社、2013年、1,500円  
 G. タイセン『歴史・文学・宗教 新約聖書』教文館、2003年、2,000円  
 W. マルクセン『新約聖書緒論』教文館、1984年、5,500円  
 大貫隆、山内眞監修『新版 総説新約聖書』日本キリスト教団出版局、2003年、7,200円  
 荒井献、中村和夫、川島貞雄、橋本滋男、川村輝典、松永晋一『総説 新約聖書』日本キリスト教団出版局、1981年、6,300円

## 日本キリスト教史Ⅰ 月曜日 午後6時50分～8時20分

講義日程：4/9,4/16,4/23,5/7,5/14,5/21,6/4,6/11,6/18,6/25,7/2,7/9,7/23の全13回

担当： 戒能信生 講師

日本プロテスタント・キリスト教史について、明治以降の各教派の伝道展開、教会形成を跡付けながら、この国のキリスト教の特質を探ります。特に、それぞれの時期に活躍した伝道者・神学者・信徒などの個人の信仰と思想、さらにその生涯の歩みに注目し、その著作に直接触れることを通して、歴史の中に生きたその足跡に学びます。

前期の「日本キリスト教史Ⅰ」と後期の「日本キリスト教史Ⅱ」と、実質的に通年で、明治期・大正期・昭和期の三世に渡るキリスト教史の流れを取り上げます。

講義と受講生によるリーディング・レポートを組み合わせて授業を構成します。受講生たちの積極的な参加を期待しています。

## 講義計画

1	講義「幕末期宣教師の来日と日本の教会の出発」
2	講義「新島襄とその時代」
3	受講生発題と講義「新島襄と思想と信仰」
4	講義「海老名弾正とその時代」
5	受講生発題と講義「海老名弾正の思想と信仰」
6	講義「植村正久とその時代」
7	受講生発題と講義「植村正久の思想と信仰」
8	講義「内村鑑三とその時代」
9	受講生発題と講義「内村鑑三の思想と信仰」
10	講義「柏木義円とその時代」
11	受講生発題と講義「柏木義円の思想と信仰」
12	講義「新渡戸稲造とその時代」
13	受講生発題と講義「新渡戸稲造の思想と信仰」
14	まとめ「日本プロテスタント第一世代の信仰とその特質」

## 教科書・参考書

毎回、講義要録のレジュメを用意して配布します。主な参考文献は、最初の授業の際に配布します。

## キリスト教教育概論

月曜日 午後8時30分～10時

講義日程：4/9,4/16,4/23,5/7,5/14,5/21,6/4,6/11,6/18,6/25,7/2,7/9,7/23の全13回



担当： 古谷正仁 教授

1. キリスト教教育の歴史を学び、現在行われている教育の歴史的背景を理解する。
2. 現在行われているキリスト教教育の基礎理論、概念等を学ぶ。特に「教会教育は、今、何を教え、学ぶべきか」「教会教育の教師であるとはどういうことか」を中心に。

## 講義計画

1	①授業ガイダンス ②自己紹介（私が受けてきたキリスト教教育）
2	キリスト教教育の歴史（1）
3	キリスト教教育の歴史（2）
4	キリスト教教育の歴史（3）
5	キリスト教教育の歴史（4）
6	キリスト教教育の歴史（5）
7	キリスト教教育の歴史（6）
8	現代におけるキリスト教教育の課題（1）ナウエンの著作に導かれつつ
9	現代におけるキリスト教教育の課題（2）ナウエンの著作に導かれつつ（学生発題）
10	現代におけるキリスト教教育の課題（3）ナウエンの著作に導かれつつ（学生発題）
11	現代におけるキリスト教教育の課題（4）ナウエンの著作に導かれつつ（学生発題）
12	現代におけるキリスト教教育の課題（5）ナウエンの著作に導かれつつ（学生発題）
13	まとめ（1）
14	まとめ（2）

## 教科書・参考書

## 【教科書】

今橋朗、川島貞雄他『教会教育ハンドブック』日本聖書神学校 1981（総務部で販売しています）。

ヘンリー・ナウエン（小淵春夫訳）『愛されている者の生活 世俗社会に生きる友のために』あめんどう 1999

【参考書】その都度、授業で紹介いたします

## ヘブル語 (通年) 火曜日 午後7時55分～9時25分

講義日程：前期 4/3,4/17,4/24,5/1,5/8,5/15,5/22,5/29,6/5,6/19,6/26,7/3,7/10,7/17

後期 9/18,9/25,10/9,10/16, 10/23,10/30,11/6,11/13,11/20,11/27,12/4,12/11,12/18,1/15, の全 28 回

旧約聖書の原語であるヘブル語の世界に足を踏み入れて行きます。その独自の世界観に親しむことを通して、旧約聖書の中で語られている物語に対して新しい視点を見い出していくことを目的とします。基礎文法を学ぶことが中心となりますが、CD等を聞き、自ら発音し、旧約聖書をヘブル語で読めるようになることを目指します。



担当：  
稲垣千世 教授

## 講義計画

1	アルファベット (1)	15	前置詞 (2)
2	アルファベット (2)	16	練習問題
3	アルファベット (3)	17	聖書音読 (3)
4	母音記号やその他の記号 (1)	18	名詞と形容詞
5	母音記号やその他の記号 (2)	19	文の構成
6	母音記号やその他の記号 (3)	20	練習問題
7	読み方の練習 (1)	21	聖書音読 (4)
8	読み方の練習 (2)	22	性と数
9	聖書音読 (1)	23	練習問題
10	定冠詞 (1)	24	聖書音読 (5)
11	定冠詞 (2)	25	接続詞、疑問詞、代名詞語尾
12	練習問題	26	練習問題
13	聖書音読 (2)	27	規則動詞の完了形
14	前置詞 (1)	28	まとめ

## 教科書・参考書

## 【教科書】

J.Weingreen, "A Practical Grammar for Classical Hebrew," 2nd, Oxford University Press, 1959.

## 【参考書】

ヘブル語講座 DVD (総務部で販売 19,440 円)

ミルトス・ヘブライ文化研究所編『創世記 I』-ヘブライ語聖書対訳シリーズ 1-, ミルトス社, 1990 年

(注) 通年科目は、1 科目でも受講料は 2 科目として扱います。

## ギリシア語 (通年) 火曜日 午後7時55分～9時25分

講義日程：前期 4/3,4/17,4/24,5/1,5/8,5/15,5/22,5/29,6/5,6/19,6/26,7/3,7/10,7/17

後期 9/18,9/25,10/9,10/16, 10/23,10/30,11/6,11/13,11/20,11/27,12/4,12/11,12/18,1/15, の全 28 回

担当： 新約聖書をギリシア語で読むための基礎的文法を学ぶ。講義終了時において、辞書などを用いてギリシア語原典を理解できるようになることを目的とする。

菅原裕治 講師

## 講義計画

1	ギリシア文字・発音	16	動詞 (未来)
2	名詞 (O 変化・第二変化 1)	17	動詞 (不定過去)
3	動詞 (現在)	18	動詞 (現在完了)
4	名詞 (O 変化・第二変化 2)	19	動詞 (過去完了)
5	名詞 (A 変化・第一変化 1)	20	動詞 (中動態、受動態<現在、未完了過去>、能動態欠如動詞)
6	名詞 (A 変化・第一変化 2)	21	動詞 (中動態<未来、不定過去>) (中・受動態<現在完了、過去完了>)
7	代名詞 (人称代名詞)	22	動詞 (受動態未来) (受動態不定過去)
8	代名詞 (指示代名詞)	23	動詞 (不定法)
9	代名詞 (再帰代名詞、強調代名詞、所有代名詞)	24	動詞 (分詞 1)
10	代名詞 (疑問代名詞、不定代名詞、関係代名詞)	25	動詞 (分詞 2)
11	名詞 (第三変化 1)	26	動詞 (命令法)
12	名詞 (第三変化 2)	27	動詞 (接続法 1)
13	形容詞 (母音変化)	28	動詞 (接続法 2)
14	形容詞 (子音変化)、形容詞及び副詞の比較級	29	特別動詞 1
15	動詞 (未完了過去)	30	特別動詞 2・数詞

## 教科書・参考書

## 【教科書】

玉川直重著、土岐健治監修、『改訂版 新約聖書ギリシア語独習』、キリスト新聞社、1999 年 12 月 (初版)、2008 年 4 月 (新装版)、4000 円

## 【参考書】

土岐健治著、『新約聖書ギリシア語初歩 (改定新版)』、新教出版社、1999 年 7 月、3800 円 (税別)

なお、教科書に基づいた独習用の DVD を総務部で販売しています (19,440 円)。

(注) 通年科目は、1 科目でも受講料は 2 科目として扱います。

## キリスト教史Ⅱ

水曜日 午後6時15分～7時45分

講義日程：4/4,4/11,4/18,4/25,5/2,5/16,5/23,5/30,6/6,6/13,6/20,6/27,7/4,7/11 の全14回



担当：

柳下明子 教授

「プロテスタント教会」の諸教派のルーツとなる宗教改革という出来事を学ぶことは、すなわち今立っている私たちの教会の神学を学ぶことでもあります。16, 17世紀を中心に、事件や神学思想を見てゆきます。

## 教科書・参考書

## 【教科書】

フスト・ゴンサレス『キリスト教史 下巻』新教出版社、2003年、5500円

## 【参考書】

適宜紹介する

## 講義計画

1	イントロダクション
2	ルネッサンス
3	ルターの改革 1) 95カ条の提題
4	ルターの改革 2) 礼拝・神学
5	ルターの改革の展開
6	ツヴィングリのスイス宗教改革
7	再洗礼派
8	カルヴァンの改革
9	カルヴァンの改革の展開
10	ローマ・カトリックにおける改革
11	イングランド宗教改革
12	ピューリタン革命
13	正統主義と敬虔主義
14	メソディズム
15	エキュメニカル運動

## ラテン語（通年）

水曜日 午後7時55分～9時25分

講義日程：前期 4/4,4/11,4/18,4/25,5/2,5/16,5/23,5/30,6/6,6/13,6/20,6/27,7/4,7/11

後期 9/12,9/26,10/3,10/10,10/17,10/24,10/31,11/7,11/14,11/21,11/28,12/5,12/12,1/9 の全28回



担当：

柳下明子 教授

ラテン語は3世紀から実に20世紀までキリスト教の公用言語として機能してきました。キリスト教史や典礼を学ぶためには必須の言語と言えるでしょう。ここでは古典ラテン語の発音の仕方、文法から始め、最終的には辞書を引ながらラテン語の文書を読めるようになることを目標としたいと思います。授業は教科書に従って進め、毎回前回の復習を行って学習事項の定着を計ります。

## 講義計画

1	身近にあるラテン語、ラテン語の文字と発音	16	人称代名詞と強意代名詞 (31,32 課)
2	動詞と名詞の活用 (教科書 3, 4 課)	17	接続法 (33 課)
3	動詞と名詞の活用 (5, 6 課)	18	条件文 (34,35 課)
4	形容詞の活用と動詞；未完了過去 (7, 8 課)	19	不定詞と対格不定詞 (36,37 節)
5	名詞と形容詞 (9, 10 課)	20	関係代名詞と非人称動詞 (38,39 課)
6	動詞；未来形 (11 課)	21	分詞 (40,41 課)
7	前置詞と不定詞 (12,13 課)	22	独立奪格 (42 課)
8	名詞と形容詞 (14,15 課)	23	形容詞比較級、最上級、数詞 (43,44,45 課)
9	動詞；完了形 (16,17 課)	24	動名詞 (46 課)
10	名詞の活用 (18,19 課)	25	動形容詞 (47,48 課)
11	動詞；受動態 (20,24 課)	26	命令法 (49,50 課)
12	名詞と形容詞 (21,22,23 課)	27	目的分詞 (51 課)
13	名詞および特殊な動詞 (25,26,27 課)	28	読解練習
14	代名詞 (28,29 課)	29	読解練習
15	接続法 (30 課)	30	テスト

## 教科書・参考書

## 【教科書】

田中利光『ラテン語初歩』、岩波書店

## 【参考書】

適宜紹介する

(注) 通年科目は、1科目でも授業料は2科目として扱います。

## 神学概論

木曜日 午後6時15分～7時45分

講義日程：4/5,4/12,4/19,4/26,5/10,5/17,5/24,5/31,6/7,6/14,6/21,6/28,7/5,7/12の全14回



キリスト教神学の基礎を学ぶ。

担当：

郷 義孝 教授

## 教科書・参考書

## 【教科書】

郷義孝、『キリスト教—21世紀への模索』、学陽書房、2000年3月。

(教科書は著者割引(2割引)があるので、各自で買わないでください。)

## 【参考書】

アリストアー・マクグラス、『キリスト教神学資料集、上、下』2007年など。

郷義孝、『プロレゴメナー神学の基礎論』、三恵社、2010。

## 講義計画

1	履修の手引き、神学とは何か？
2	学問としての神学とドグマとしての神学
3	神学と諸学の関係、特に、哲学
4	神学の論理と言葉
5	神とは何か
6	神の属性
7	神の義の問題
8	キリストのわざと人格
9	キリストの神性
10	キリストのわざと贖罪
11	聖霊とは何か
12	内在的三一論と経緯的三一論
13	教会論と教会の形成、聖餐論
14	キリスト教倫理の問題
15	終末をどう考えるか

## 礼拝学

金曜日 午後6時50分～8時20分

講義日程：4/6,4/13,4/20,4/27,5/11,5/18,5/25,6/1,6/8,6/15,6/22,6/29,7/6,7/13の全14回



まず、キリスト教の礼拝とはいかなる行為であり、そこで何が起きているのかを考えるとところから始める。次に、(チャペルでの司式や、礼拝計画の実習に備えるために)礼拝指導について、礼拝の構造と動きについて基本的なことを学ぶ。その後、初期教会から現在に至るまでの礼拝の歴史を概観したい。

以上と並行して、神学校礼拝の一回を担当し、特別な主題のための礼拝をデザインし、実行するという実践的な学びを行う。

担当：

荒瀬牧彦 教授

## 教科書・参考書

## 【教科書】

今橋 朗『礼拝を豊かに 対話と参与』(日本基督教団出版局)

※基本的前提とします。必ず読んでおくこと。

『神の民の礼拝 カンバーランド長老キリスト教会礼拝書』(一麦出版社)

※教室にて神学生特価(2000円)で販売します。

『礼拝の詞1』、『礼拝の詞2』(日本聖書神学校)※総務部で販売しています。

『聖書』 ※毎回、すぐ開けるよう手許に用意しておいてください。

## 【参考書】

○一回目に「参考文献表」を配布します。ブックレポートの対象図書はそれに指示します。

○必要に応じて資料プリントを配布します。配布したものはファイルにして毎回持参してください。後で参照することがあるので。

## 講義計画

1	参考文献の説明・課題の説明・学校礼拝の司式オリエンテーション
2	自分自身の礼拝学的成育歴・礼拝とは何か
3	礼拝の構造と動き(前半)
4	礼拝の構造と動き(後半)
5	礼拝の歴史① 旧約における礼拝
6	礼拝の歴史② 新約における礼拝
7	礼拝の歴史③ 古代
8	礼拝の歴史④ 中世
9	礼拝の歴史⑤ 宗教改革
10	礼拝の歴史⑥ 近代・現代
11	教会暦と聖書日課
12	洗礼と聖餐
13	プロテスタント礼拝の未来
14	<自分たちでデザインした礼拝の実施>

## キリスト教史 I

月曜日 午後6時50分～8時20分

講義日程：9/10,10/1,10/15,10/22,10/29,11/5,11/12,11/19,11/26,12/3,12/10,1/7,1/21 の全13回



担当：  
柳下明子 教授

古代教会の歴史は現在の教会の姿をとらえるうえで欠かすことのできない学びです。4世紀までの教会の歴史の中で代表的な思想家や大きな出来事を取りあげつつ、古代の教会の歴史を学びます。なお「中世」としてひとくくりされる5世紀頃から15世紀頃までの歴史もキリスト教史Ⅱとの関連の中で触れてゆきます。

## 講義計画

1	イントロダクション
2	2世紀までのキリスト教
3	グノーシス主義
4	古カトリック教会の成立
5	テルトゥリアヌスとキプリアヌス
6	アレクサンドリア学派
7	ローマ帝国と教会 1) 迫害から公認まで
8	ローマ帝国と教会 2) 承認とその反動
9	ニカイヤ公会議開催まで
10	ニカイヤ論争
11	コンスタンティノポリス公会議
12	アウグスティヌスの思想
13	5世紀のキリスト論論争
14	中世の教会 1) 修道院運動
15	中世の教会 2) 十字軍

## 教科書・参考書

## 【教科書】

フスト・ゴンサレス『キリスト教史 上巻』新教出版社、2002.6、5,700円

## 【参考書】

適宜紹介する

## 日本キリスト教史Ⅱ

月曜日 午後6時50分～8時20分

講義日程：9/10,10/1,10/15,10/22,10/29,11/5,11/12,11/19,11/26,12/3,12/10,1/7,1/21 の全13回

担当：  
戒能信生 講師

日本プロテスタント・キリスト教史について、明治以降の各教派の伝道展開、教会形成を跡付けながら、この国のキリスト教の特質を探ります。特に、それぞれの時期に活躍した伝道者・神学者・信徒などの個人の信仰と思想、さらにその生涯の歩みに注目し、その著作に直接触れることを通して、歴史の中に生きたその足跡に学びます。

前期の「日本キリスト教史Ⅰ」と後期の「日本キリスト教史Ⅱ」と、実質的に通年で、明治期・大正期・昭和期のキリスト教史の流れを取り上げます。

講義と受講生によるリーディング・レポートを組み合わせて授業を構成します。受講生たちの積極的な参加を期待しています。

毎回、講義要録のレジュメを用意して配布します。主な参考文献は、最初の授業の際に配布します。

## 講義計画

1	講義「中田重治とその時代」
2	受講生発題と講義「中田重治の思想と信仰」
3	講義「山室軍平とその時代」
4	受講生発題と講義「山室軍平の思想と信仰」
5	講義「高倉徳太郎とその時代」
6	受講生発題と講義「高倉徳太郎の思想と信仰」
7	講義「賀川豊彦とその時代」
8	受講生発題と講義「賀川豊彦の思想と信仰」
9	講義「由木 康とその時代」
10	受講生発題と講義「由木 康の思想と信仰」
11	講義「鈴木正久とその時代」
12	受講生発題と講義「鈴木正久の思想と信仰」
13	講義「隅谷三喜男とその時代」
14	受講生発題と講義「隅谷三喜男の思想と信仰」

## 教科書・参考書

毎回、講義要録のレジュメを用意して配布します。主な参考文献は、最初の授業の際に配布します。

## 教会音楽

月曜日 午後6時50分～8時20分

講義日程：9/10,10/1,10/15,10/22,10/29,11/5,11/12,11/19,11/26,12/3,12/10,1/7,1/21 の全13回

担当： 教会で礼拝に仕える者にとって、賛美歌の基本的な知識を身につけること、礼拝における音楽の働きについて正しい理解を持つこと、そして、自分自身がしっかりと歌えるようになることは非常に重要である。本講義では1クラスを前半と後半に分け、前半は主に賛美歌学・礼拝学の側面から学び、後半は音楽面の理解を深め、実際に歌うことを通して賛美歌に習熟していく。

## 講義計画

1	教会はなぜ歌うのか 賛美歌の定義
2	賛美歌の歴史 聖書にみる賛美、古代教会
3	賛美歌の歴史 中世のラテン語賛美歌
4	賛美歌の歴史 宗教改革① ルターと会衆賛美
5	賛美歌の歴史 宗教改革② 詩編歌
6	賛美歌の歴史 17～18世紀の賛美歌
7	賛美歌の歴史 19～20世紀の賛美歌
8	賛美歌の歴史 日本における賛美歌の受容と発展
9	賛美歌の歴史 ヒム・エクスプロージョン
10	『讃美歌21』とそれ以降の賛美歌集
11	教会暦と賛美歌
12	礼拝順序と賛美歌
13	賛美歌を創作する
14	ヒム・フェスティバル

## 教科書・参考書

## 【教科書】

『讃美歌21』、『讃美歌(1954年版)』、その他

## 【参考書】

原 恵、横坂康彦『新版賛美歌 その歴史と背景』2004年 日本基督教団出版局

横坂康彦『教会音楽史と賛美歌学』1993年 日本基督教団出版局

長谷川朝雄、川端純四郎、今橋朗『よくわかるキリスト教の音楽』2000年 キリスト新聞社

Andrew Wilson-Dickson, The Story of Christian Music, 1996 Fortress

Paul Westermeyer, TE DEUM: The Church and Music, 1998 Fortress

## 旧約概論

月曜日 午後8時30分～10時

講義日程：9/10,10/1,10/15,10/22,10/29,11/5,11/12,11/19,11/26,12/3,12/10,1/7,1/21 の全13回



古代イスラエル民族が生み出した信仰の書である旧約聖書をイスラエル民族の歩みと共に学んでいきます。(聖書を持参。)

## 講義計画

聖書を読むことを通して、旧約聖書の文学とその背後にある宗教を歴史的にイスラエルの民族の歩みと共に学んでいきます。古代イスラエル民族の多様な面の中から約千年の歩みを経て、イエスの出現と初期キリスト教へ向かう歴史へと目を向けていきます。

担当： 稲垣千世 教授

## 教科書・参考書

## 【教科書】

聖書(新共同訳)

## 【参考書】

W.H. シュミット、W. ティール、R. ハンハルト著、大串肇訳『コンパクト旧約聖書入門』教文館、2009

## 旧約時代史

水曜日 午後6時15分～7時45分

講義日程：9/12,9/26,10/3,10/10,10/17,10/24,10/31,11/7,11/14,11/21,11/28,12/5,12/12,1/9の全14回

担当：

矢田洋子 講師

歴史学や考古学の成果を踏まえて、旧約聖書の背景としての歴史について基礎知識を得る。

古代イスラエルの歴史において決定的な意味を持った出来事を中心に歴史の流れを学ぶ。また、それらの出来事に関する研究文献や考古学資料を紹介し解説する。

旧約聖書を歴史的観点で読むことは、旧約聖書の信仰の特質を考える上で不可欠であり、「全き知識を与える神の言葉」としてより深く受け取る準備になることを実感していただきたい。

併せて、旧約聖書全体の内容を把握をも目標とする。

## 講義計画

1	オリエンテーション。「始まり」：旧約聖書の伝承の信頼性
2	イスラエルとは何か（1）「出エジプト」はどこまで歴史的か
3	イスラエルとは何か（2）「カナンへの定着」は土地取得か征服か、農民革命か経済変動か
4	イスラエルとは何か（3）「士師時代」のイスラエル。部族連合の成立？
5	イスラエルとは何か（4）「族長」の信憑性。イスラエル十二部族とは
6	王国の成立（1）「士師の制度から王制へ」王制とは何か、なぜ王国となったか
7	王国の成立（2）「イスラエルとユダ」一つの王国が分裂したのか
8	北王国の滅亡：北王国とは何か、サマリアの起源、アッシリアの影響、シリア・エフライム戦争
9	南王国の滅亡：ダビデ王朝の神学的基盤
10	バビロン捕囚：捕囚期という時代、バビロン捕囚の神学的意味
11	ペルシア時代：エルサレムへの帰還、ユダヤ教団の成立
12	ヘレニズム時代：マカバイ戦争はなぜ起きたか
13	ローマ時代：ユダヤ戦争まで
14	まとめ、復習

## 教科書・参考書

## 【教科書】

新共同訳聖書

S. ヘルマン / W. クライバー（樋口訳）『よくわかるイスラエル史—アブラハムからバル・コクバまで』（教文館）

## 【参考書】

授業時に紹介する。

## 新約時代史

水曜日 午後7時55分～9時25分

講義日程：9/12,9/26,10/3,10/10,10/17,10/24,10/31,11/7,11/14,11/21,11/28,12/5,12/12,1/9の全14回

担当：

田中健三 講師

新約聖書成立の時代的背景を学ぶ。アレクサンドロス大王以降のヘレニズム、ローマ帝国史、ユダヤ史の概観を知るとともに、いくつかのテーマについてはある程度掘り下げて理解を深める。

## 講義計画

1	ガイダンス
2～3	ヘレニズム時代
4～6	ローマ帝国
7～9	ユダヤ民族
10～12	新約文書の成立
13～14	キリスト教の伝播

## 教科書・参考書

## 【教科書】

佐藤研『聖書時代史 新約篇』岩波書店、2003年

## 【参考書】

S. サフライ / M. シュテルン編『総説・ユダヤ人の歴史 上中下』長窪専三他訳、新地書房、1989～92年。

その他適宜紹介する。



担当：  
柴崎 聡 講師

聖書には、数知れない比喩が登場します。また、文学作品にも比喩が登場します。比喩の本質を考察していくと、そこには先人たちの知恵と知識が秘蔵されています。イエスは比喩の天才でした。その最たる例は、山上の説教でしょう。この講義においては、比喩を中心に据え、聖書、キリスト教作家やキリスト教詩人の作品を通して、「キリスト教と文学」の関係を探っていきます。そのことが必ずや、聖書への深い読解と感動に資することになると信じるからです。

### 講義計画

1	比喩とは何か1（比喩の種類・多様性について解説する）
2	比喩とは何か2（比喩の中でも重要な直喩と隠喩について解説する）
3	小説に見る比喩1（グレアム・グリーンと遠藤周作の比喩を比較する）
4	小説に見る比喩2（小川国夫、三浦綾子、大江健三郎、森内俊雄の小説に登場する比喩を検討する）
5	戯曲に見る比喩（シェイクスピア、サミュエル・ベケット、木下順二、高堂要の戯曲に登場する比喩を検討する）
6	詩に見る比喩1（ライナー・マリア・リルケ、石原吉郎、安西均の詩に登場する比喩を検討する）
7	詩に見る比喩2（「ぞうさん」のまど・みちお、「さっちゃん」の阪田寛夫の詩に登場する比喩を検討する）
8	聖書に見る比喩1（旧約聖書に登場する比喩を検討する）
9	聖書に見る比喩2（新約聖書に登場する比喩を検討する）
10	詩人イエス1（比喩の天才であったイエスについてのオスカー・ワイルド、芥川龍之介、由木康たちの所見を学ぶ）
11	詩人イエス2（言葉の代務者であったイエスについて、またその譬えについて学ぶ）
12	比喩の働き1（新しい認識に伴う新しい比喩の働きについて学ぶ）
13	比喩の働き2（比喩の危うさ、限界についても学ぶ）
14	まとめ（比喩は「人間の文化遺産」であることを確認しながら、「キリスト教と文学」のまとめをする）

### 教科書・参考書

#### 【教科書】

柴崎聡著『文学の比喩 聖書の比喩』、新教出版社、2009年4月10日、定価1995円

#### 【参考書】

柴崎聡著『詩の喜び 詩の悲しみ』、新教出版社、2004年9月1日、定価1995円

※下記宛先まで FAX または、ご郵送ください。

F A X 03-3951-3044

郵送先 161-0033 新宿区下落合 3-14-16 日本聖書神学校 神学基礎講座係

## 神学基礎講座 受講申込書

私は、日本聖書神学校主催の 2018 年度神学基礎講座の受講を申し込みます。

2018 年 月 日

名前 \_\_\_\_\_

現住所	〒
生年月日	19 年 月 日
受洗年月	年 月 日
所属教会	牧師名 教会 ( )
電 話	
携帯電話	
Eメール	(講師の都合などで休講になる場合の連絡先)
受講科目	
受講料	<input type="checkbox"/> 1 科目 15,000 円 <input type="checkbox"/> 2 科目 30,000 円 <input type="checkbox"/> 3 科目 42,000 円 <input type="checkbox"/> それ以上 ( ) 科目 _____ 円 ※3 科目以上受講される方は、1 科目あたり 14,000 円となります。例えば、3 科目受講の場合は 14,000 円×3=42,000 円となります。 <input type="checkbox"/> 5,000 円 (パウロ神学の諸相 (全 5 回講座))